

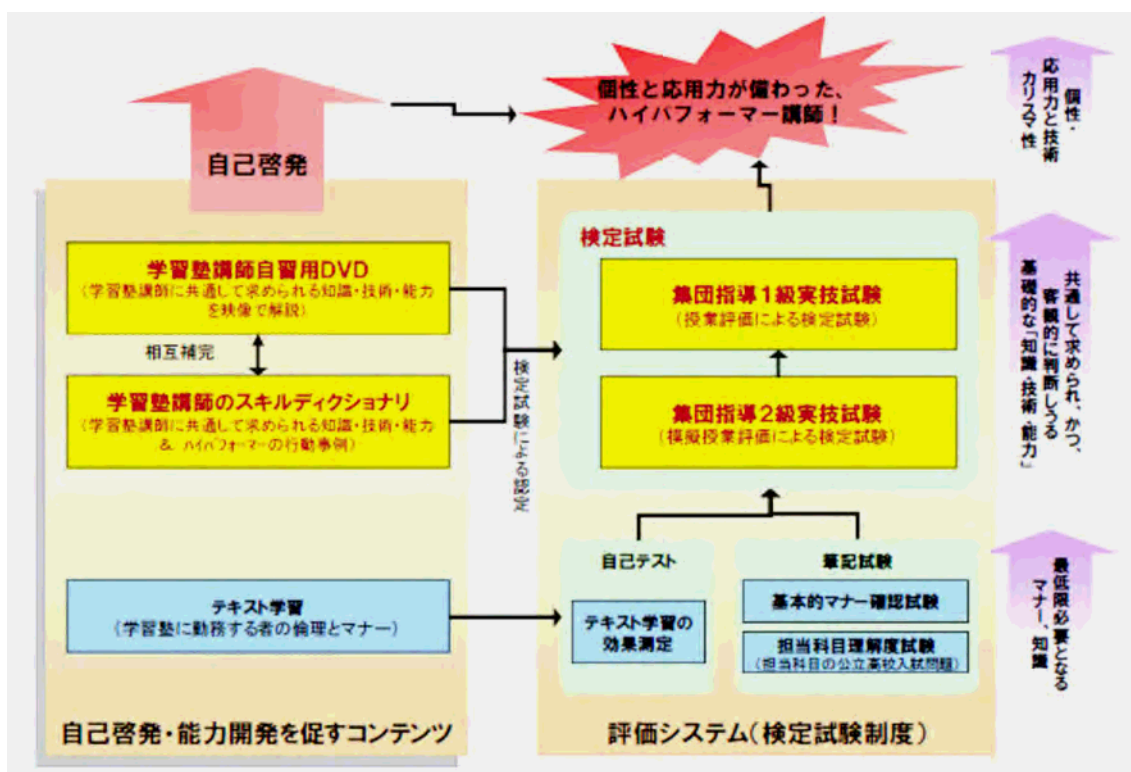
学習塾講師検定 F A Q

Q 1 学習塾講師検定とは何ですか。

A 公益社団法人全国学習塾協会(以下、「協会」という。)では、学習塾講師が身につけるべき事項のうち『共通して求められ、客観的に判断可能な、知識・技術・能力』を「学習塾講師のコンピテンシーディクショナリ」(以下、「コンピテンシーディクショナリ」という。)としてまとめました。

コンピテンシーディクショナリでは塾講師が授業を行う際に実施すべき行動を分類・整理しており、それをもとに審査項目を定め、検定試験の実技審査の際の基準としています。現在、検定試験には集団指導1級、2級、3級があります。

Q 2 学習塾講師検定の全体像はどうなっていますか。



A 学習塾講師検定制度を含む講師能力評価システムの全体像は、上の図の通りです。

図の左側『自己啓発・能力開発を促すコンテンツ』は、塾講師に共通して求められる知識・技術・能力をまとめたコンピテンシー(スキル)ディクショナリ及び学習塾講師自習用DVDを作成し、普及させることで、若手講師の皆さんの自己啓発を促すことを目的としています。

図の右側『検定試験制度』は、コンピテンシーディクショナリや学習塾講師自習用DVDで学ぶ事項に連動させる形で評価項目を設定しています。

両者を体系的に整備することによって、特に初心者である塾講師にとって、能力開発の基準や初期段階のキャリアアップパスが明確になり、自ら自己啓発・能力開発を進めることができることとなります。

学習塾講師自習用DVDは、当協会ウェブサイトで見聴することができます。

Q 3 集団指導1級の受検対象者はどんな層ですか。

A 塾講師歴3～5年くらいの方で実践の中で講師スキルを十分に理解し、実際の状況に活用できつつあるレベルの皆さんです。原則やポイントや知識を十分に理解し、実際に状況に活用できているかどうかを審査します。

検定合格者のイメージとしては、「集団指導の場において、指導者としての品格をもち、塾生から信頼される態度で、学習塾教材をベースに独自の工夫を活かし、塾生一人ひとりの理解度や反応に目を配り、教室（塾生全体）のやる気を高揚させながら、学力および成績向上のポイントを確実に押さえ、教室（塾生全体）を掌握した効果的な学習指導ができる人材」。

Q 4 集団指導2級の受検対象者はどんな層ですか。

A 塾講師歴2～3年くらいの方で実践の中で原則やポイントを身につけつつあるレベルの皆さんです。ただし、経験を積んでいるといっても、時間をこなす方法を身につけただけかもしれないのは、独学で、自分の教室経験をくり返している場合もある。したがって、スキルディクショナリなどを通して、指導のポイントや原則を知識として知っていることは大切である。検定では、集団指導として多くのベテランが指摘するポイントや基本と成る知識を前提として、状況に適応しているかどうかを審査します。

検定合格者のイメージとしては、「集団指導の場において指導者として適切にふるまい、教室（塾生全体）のやる気や理解度に配慮しながら間違いのない学習指導ができる人材」。

Q 5 集団指導3級の受検対象者はどんな層ですか。

A 学習塾講師としての、基本的倫理観を身につけており、担当科目に対する十分な知識を有するか否かを審査します。筆記試験のみで判定いたします。

検定合格者は、集団指導2級を受検する際に、筆記試験の受験が免除されます。

Q 6 スーパー講師やカリスマ講師などは審査対象なのですか。

A スーパー講師やカリスマ講師と呼ばれるエキスパートな塾講師は、基本を十分に理解しつつも、それぞれの型を持っており、それはよい意味での「個性」です。こうした講師は初心者用にモデル授業をしてほしいと言えば、それを実行することは容易です。しかし、実際には、生徒の状況によって柔軟に対応し、しかも生徒のやる気を高めることに成功している人たちです。こうしたレベルは検定の対象としておりません。

Q 7 学習塾講師のコンピテンシーディクショナリとはどのようなものですか。

A コンピテンシーディクショナリは、学習塾講師に共通して求められる基礎的な知識や技術、能力を具体的に記述したものです。

コンピテンシーディクショナリは、これから学習塾講師を目指す方や新任講師の自学自習を促すことを目的として作成していますが、中堅・ベテランの講師も、自らの基礎力を再確認し、能力開発に役立てられるような構成となっています。

コンピテンシーディクショナリでは、学習塾講師が授業を行う際に実施すべき行動を「①授業の流れ」、「②各段階で望まれる行動」を軸に分類して整理している。学習塾講師の得意・不得意分野を明確にして、不得意分野は克服して基礎力を身につけるとともに、得意な分野はさらに磨きをかけることによって、学習塾講師自身が理想とする優れた学習塾講師を目指すことを目的としています。

なお、コンピテンシーディクショナリの内容が実際の授業ではどのように表現されるのかを例示するために、『学習塾講師自習用DVD』では、コンピテンシーディクショナリの内容を映像で解説している。併せて活用すれば、実際の授業イメージも理解できるよう機能を補完させています。

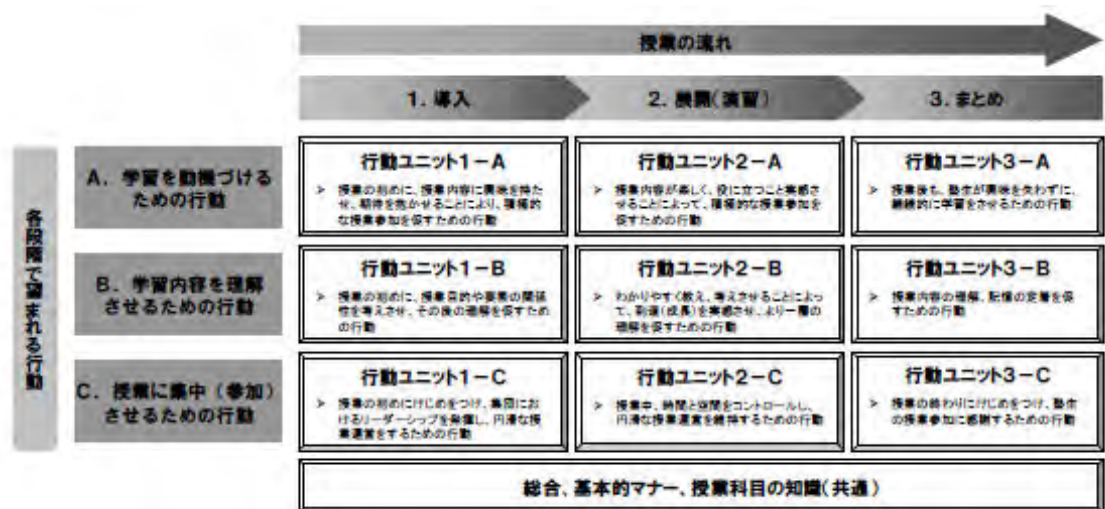
コンピテンシーディクショナリに記載されている「求められる行動基準」は、学習塾講師の検定試験である「集団指導2級」「集団指導1級」の評価項目に使われています。コンピテンシーディクショナリを用いて自己啓発・能力開発をすることは、塾講師としての基礎力を身につけることのみならず、検定試験の合格にも繋がります。

Q 8 コンピテンシーディクショナリの全体像・構成はどうなっていますか。

A 学習塾の授業は基本的に「導入→展開→まとめ」の構成となっています。学習塾講師は、授業の流れに応じた適切な行動を取る必要があります。塾講師が授業をする際には、「塾生に学習を動機付け」「塾生に授業に集中させる」とともに、「塾生に学習内容を理解させる」ための行動を取る必要があります。それぞれ必要となる行動は異なりますし、必要となるタイミングも異なります。

コンピテンシーディクショナリは、導入・展開・まとめの授業の流れと望まれる行動群

の目的別に9つ行動ユニットを定め、さらに各ユニットごとに行動基準や行動事例などを挙げています。これらの行動基準は同時に検定の審査項目になっています。



Q 9 集団指導 2 級はどんな試験ですか。

A まず、学習塾講師の心構えや基本的倫理観などを内容とした基礎知識テキストを学習し、同テキスト及び受検者が選択した科目の公立高校入試問題レベルを範囲とする筆記試験を受験します。その後、筆記試験正答率 8 割以上を当該試験合格と判定し、二次試験となる実技試験に進みます。実技試験とは、受検者が模擬授業映像を DVD 撮影したものを提出し、当該映像を複数の公認審査員が審査します。

受検者が模擬授業を撮影する際には、コンピテンシーディクショナリに記載されている「求められる行動基準」を体現していることが重要です。

Q 10 集団指導 2 級実技試験を受験する上で重要な点は何ですか。

A 実技試験は Q 9 で述べたように、撮影した模擬授業においてコンピテンシーディクショナリに記載されている「求められる行動基準」が体現できているかが重要になります。

実技試験は、受検者の模擬授業中の行動が審査の対象になりますから、求められる行動基準に示されている行動を「行う」ことが不可欠です。次に、行った行動については「瑕疵」や「違和感」なく行えたかに配慮しましょう。

Q 11 集団指導 2 級実技試験を受験する上で注意すべき点は何ですか。

A 協会では検定に関してコンピテンシーディクショナリのほかに「学習塾講師検定集団指導 2 級評価マニュアル (第 2 版)」を協会サイト上で公開しています。実技審査方法の

詳細も明示されています。

受検者の皆様には本マニュアルをよくお読みいただき、とりわけ「審査手順」をよく見て審査員がどのように模擬授業映像を審査するのか知っておくことが必要でしょう。すなわち、模擬授業を撮影する際には、授業の「導入」→「展開」→「まとめ」の部分毎にくわしく観察されているという点に配慮してください。

Q 12 集団指導 3 級試験と集団指導 2 級のテキスト学習・筆記試験について教えてください。

A テキスト学習は、学習塾講師としての「基本的マナー」「初歩的な心構え」を身につけることを目的に、指定のテキストに沿って、知識の習得を行います。

テキスト学習は以下の 4 章で構成されています。

第 1 章 学習塾のミッションと期待される講師像

第 2 章 塾生・保護者に対してのふるまい

第 3 章 コンプライアンスへの取り組み

第 4 章 塾生の安全管理

筆記試験は、学習塾講師としての「基本的マナー」「初歩的な心構え」を身につけることを目的に《基本的マナー確認試験》と《担当科目理解度試験》を実施します。

《基本的マナー確認試験》はテキスト学習を出題範囲とします。《担当科目理解度試験》の受験科目は「国語」「数学」「理科」「社会」「英語」から 1 科目選択します。レベルは公立高等学校入試試験問題です。

Q 13 受検資格について教えてください。

A 集団指導 3 級試験と集団指導 2 級は、満 18 歳以上の者が受検できます。集団指導 1 級は、上の要件に加え集団指導 2 級の検定合格証を有することが必要です。

学習塾講師であるか否かは問いません。

Q 14 学習塾講師検定に係る費用について教えてください。

A 学習塾講師検定に係る費用については次の通りです。

■集団指導 1 級

受検料	7,700 円(税別)
-----	-------------

■ 集団指導 2 級

テキスト学習・筆記試験 受験料	4,300 円(税別)
実技試験 受験料	7,700 円(税別)

■ 集団指導 3 級

受験料	6,200 円(税別)
-----	-------------

Q 15 学習塾講師検定資格取得者ですが、引っ越しするなどして登録した情報に変更があります。どうしたらよいですか。

A 住所、氏名、勤務先などが変わりましたら必ずご連絡ください。ご連絡いただくための学習塾講師検定申込事項変更報告書を協会サイト上で公開しております。

Q 16 有効期限について教えてください。

A 集団指導 2 級と 1 級検定合格証の有効期間は、いずれも交付した日から 5 年間です。集団指導 3 級検定合格証の有効期間は、ありません。

Q 17 集団指導 1 級と 2 級資格取得者の更新について教えてください。

A 学習塾講師検定集団指導 1 級ならびに 2 級資格は、資格取得時の学習塾講師としての能力の維持・向上をはかるため、5 年ごとに更新が必要です。

更新申請に必要な書類を認定の有効期間の満了の 6 か月前の日から 2 か月前の日までに、当協会学習塾講師検定事業部にご提出ください。

資格の有効期限内に更新の手続きを行わないと、資格が失効します。

Q 18 【更新制度】更新申請に必要な書類はどんなものがありますか。

A 更新申請に必要な書類は次の 2 つの書類です。

- ①学習塾講師検定資格更新登録申請書
- ②学習塾講師検定資格更新用 課題レポート

協会サイト上で公開しており、ダウンロードして使用することができます。

Q 19 【更新制度】更新費用はいくらですか。

A 2,500 円(税別)です。申請書類を送付後、速やかに指定口座へお振り込みください。

Q 15 試験の一部免除とはどのようなことですか。

A 下記の場合には申込時にその旨を申請すれば、認定までに一定の免除が受けられます。

①「集団指導 2 級試験」の不合格者が、次回以降、同一科目の「集団指導 2 級」の認定を希望する場合——

「学習塾講師検定 基礎知識学習・筆記試験修了証」または「学習塾講師検定 集団指導 3 級合格証」を提示すれば「基礎知識テキスト学習の受講」、「基本的マナー確認試験」、「担当科目理解度テスト」は免除されます。

②「学習塾講師検定 基礎知識学習・筆記試験修了証」または「学習塾講師検定 集団指導 3 級合格証」の発行を受けた者が、次年度以降、他の科目の「学習塾講師 集団指導 2 級」の認定を希望する場合——

「学習塾講師検定 基礎知識学習・筆記試験修了証」または「学習塾講師検定 集団指導 3 級合格証」を提示すれば「基礎知識テキスト学習の受講」「基本的マナー確認試験」は免除されます。ただし、新たに認定を望む科目の「担当科目理解度テスト」の受験が必要です。